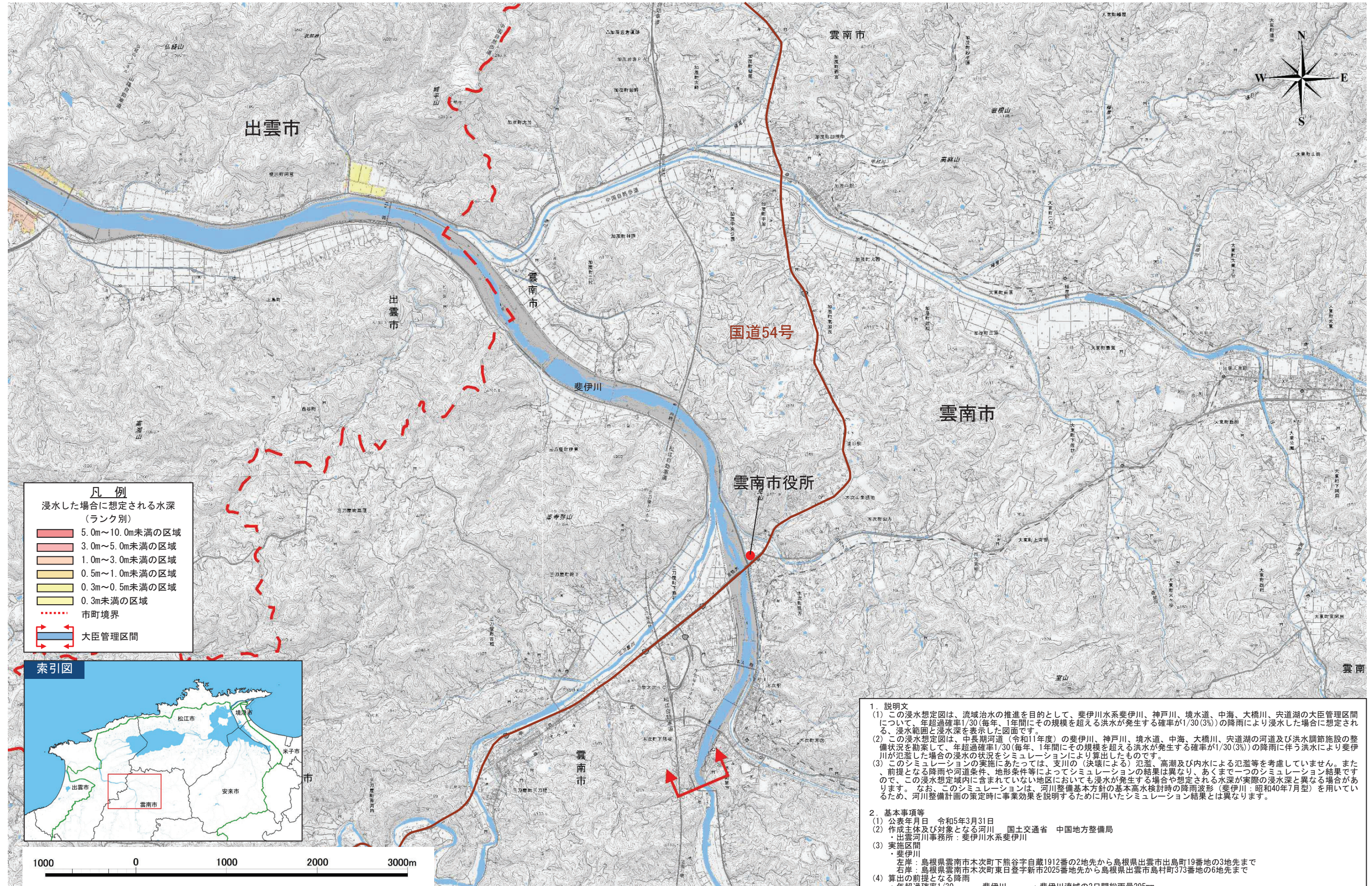


斐伊川水系 国管理河川の浸水想定図(1/30規模降雨)【中長期河道】 雲南市



- 凡例**
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)
- 5.0m~10.0m未満の区域
 - 3.0m~5.0m未満の区域
 - 1.0m~3.0m未満の区域
 - 0.5m~1.0m未満の区域
 - 0.3m~0.5m未満の区域
 - 0.3m未満の区域
 - 市町境界
 - 大臣管理区間



1. 説明文
 - (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
 - (2) この浸水想定図は、中長期河道(令和11年度)の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨に伴う洪水により斐伊川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(斐伊川：昭和40年7月型)を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
2. 基本事項等
 - (1) 公表年月日 令和5年3月31日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局
 ・出雲河川事務所：斐伊川水系斐伊川
 - (3) 実施区間
 ・斐伊川
 左岸：鳥根県雲南市太次町下熊谷字自蔵1912番の2地先から鳥根県出雲市出島町19番地の3地先まで
 右岸：鳥根県雲南市太次町東日登字新市2025番地先から鳥根県出雲市島村町373番地の6地先まで
 - (4) 算出の前提となる降雨
 ・年超過確率1/30 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量295mm
 - (5) 河道条件： 中長期河道(令和11年度)
 - (6) 関係市 雲南市

※この多段階浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。